

## 令和2年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<西濃地区> 揖斐川中学校 北和中学校 谷汲中学校 坂内中学校 揖斐高等学校

### 1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組

#### (1) 連携型中高一貫教育の目標

地域に根ざし、豊かな個性と主体性をもった人材の育成

【中学校】意欲的に学習に取り組む 仲間と協力し、助け合う 地域に誇りを持ち、貢献する



【高等学校】自ら学び、学力を高める さまざまな人と協力し合う 地域での役割を担い、貢献する



#### (2) 連携型中高一貫教育の令和2年度の重点

『地域の教育力の向上』を目指して

- ・中高連携の活動と指導の充実を図る
- ・本事業の一層の理解を求めて、保護者、町民への広報活動を充実させる

### 2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題
確かな学力の育成	揖斐Basic	○朝の学習等に位置付けて計画的・継続的に取り組むことで、学習習慣を身に付け、主体的に取り組む姿が増えてきている。 ○1学期(6月)に学習面談を位置付け、高校の教員に助言を受けることにより、進路選択に向けた意識付けができた。 ▲使用するテキストや取り組む量については、現在、各中学校の判断で行っているが、さらに情報共有し中学校間の差を小さくしていく必要がある。  【揖斐Basicの学習活動】
	サマースクールの開講	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止。
	教師の中高交流	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止。
学びに向かう力の育成	中高連携行事の実施	・「いびがわマラソン」は中止。 ○揖斐高校生による中学校での出前授業は、指導の仕方はもとより、礼儀や作法についても中学生の憧れをもてるものになっている。 ○揖斐高校から進学、就職する3年生徒を招いて、中学2年生を対象とする卒業生講話を位置付けた。  【卒業生講話】

	体験学習や学習成果発表会への参加	<p>○7月の中学2年生を対象とする「体験学習」において、親身になって説明する高校生の姿は中学生のあこがれとなり、説明する高校生にとっては自分の取組を振り返る場となっている。</p> <p>○開講式、閉校式での中学生の発表を位置付けたことにより、目的意識を明確に持たせることができる。</p> <p>○毎年、揖斐高校生の発表の質が高まっていると感じ、中学生にとっても魅力ある発表会への期待が高まっている。</p> <p>※令和3年1月16日(土) 揖斐高校学習発表会</p>	 <p>【体験学習】</p>
地域に貢献する態度の育成	地域における中高生の活躍の場の位置付け	<p>○揖斐川町青少年育成大会では新型コロナウイルス感染症対策のため無観客での実施となった。本大会は「いびがわチャンネル」の収録があり、生活環境科の『災害食 いざというときのために 備えて安心・健康な食事を考える』のプレゼンテーションが各家庭へ放映された。このプレゼンは第40回全国高校生ホームプロジェクトコンクール F H J 賞を受賞したもので、地元高校の生徒が高く評価されたことを地域住民に伝えることができた。</p> <p>○計画していた揖斐高校の生徒が参加予定の「いびまつり」「いびがわマラソン」「産業フェスティバル」についても新型コロナウイルス感染症対策により中止となったことが残念である。</p>	
	地域との連携	<p>○社会を明るくする活動でのMSリーダーズ、MSJリーダーズの参加が定着している。</p> <p>○中学生は高校生から、地域の方への対応の仕方を学んでいる。また、この活動を通して中高一貫教育についての地域の理解も広がっている。</p>	 <p>【MS・MSJリーダーズの活動】</p>
	保護者・地域住民への啓発	<p>◎「広報いびがわ」「いびがわチャンネル」で地域住民への情報提供及び啓発を進めている。</p> <p>▲保護者・地域住民への啓発はさらに行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新聞社への掲載依頼。</li><li>・中高連携行事に保護者への参加を働きかける。特に中学校2年生保護者への啓発活動を充実する。(学習成果発表会の参観案内)</li><li>・保護者や地域住民の声を集め、生徒に届けるようにする。</li></ul>	